



男女共同参画を推進しています⑤

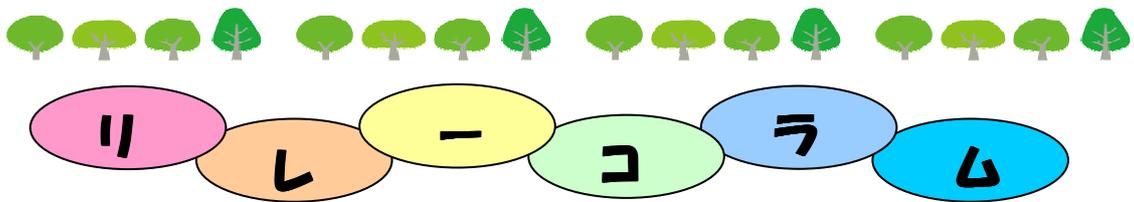
大崎市男女共同参画推進基本計画を紹介するシリーズも第5回目となりました。今号は、基本的施策⑤「就業分野における男女共同参画の推進に関する施策」について紹介します。

この施策の目的は、就業、その他の社会活動における男女共同参画の実現です。

「施策の方向」としては、次の6つの項目を掲げています。

- ▼「均等な機会・待遇の確保、労働条件及び環境整備」
 - ・企業表彰制度への誘導／機会均等、待遇の確保など関係法令の情報提供／セクハラ、パワハラ、DV防止対策／企業におけるポジティブアクションの啓発／職場における慣習、慣行の見直し
 - ▼「農業、自営業に従事する女性の労働環境整備」
 - ・具体的施策として、
 - ・農業団体、商工業団体を通じた啓発
 - ▼「政策・方針決定部門への女性登用の促進」
 - ・具体的施策として、
 - ・女性の経営への参画促進／女性社員（職員）の職域拡大・各種委員会の女性委員の割合アップ
 - ▼「女性の職業能力開発・向上支援」
 - ・具体的施策として、
 - ・雇用機会の創出、若者への就労支援
 - ▼「仕事と家庭生活の両立支援」
 - ・具体的施策として、
 - ・育児、介護休業取得が向上するような企業に対する働きかけ
 - ▼「地域活動への女性の参加促進」
 - ・具体的施策として、
 - ・地域活動の女性リーダーの育成
- 女性が就業その他の社会活動に参画することは、女性自身の個人の尊厳にかかわることとして意義のあることであり、雇用の分野、農業自営業の分野において、それが実現されるよう環境整備に関する施策を積極的に展開します。また、女性が政策や方針決定部門に男性と対等に参画できるように、その環境整備のための施策を積極的に展開します。

三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震により被害を受けられた皆様には心よりお見舞い申し上げます。巨大地震の発生から3週間が経ち、大崎市ではライフラインも復旧しつつあります。野山には新しい息吹き。生活環境の回復とともに、子供たちの元気な声やまぶしい笑顔も徐々にあります。一人ひとりが「一人の人間として大切にされる社会」の形成のためには、男女双方の視点に配慮した防災対策が不可欠です。国の第3次男女共同参画基本計画においても、防災（復興を含む）面での男女のニーズの違いに則した対策や、防災政策・対策への意思決定過程に女性の参画を進める必要があるとされています。市においても、男女共同参画の視点からの防災・減災、さらには災害時における支援・助け合いのあり方などについて、関係機関との意見交換を行いながら、皆さんと共に学ぶ機会を設けることができると考えています。



凛と信をもって連携！

今回の地震により、被害を受けられた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

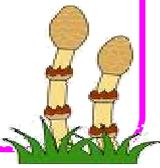
さて、古川商工会議所女性会は、昭和50年2月に古川商工会議所婦人会として発足して以来「リーダーとして、凛と信をもって連携し、平和で心豊かな社会を築きましょう。」を活動方針として、女性経営者の連携の強化と資質向上を図るため、様々な活動を行ってきました。

現在は会員数53名で、経営セミナーや講演会、視察研修、会員相互の親睦事業など、楽しくてためになる事業を多数開催し、また古川まつりや大崎市誕生祭など、地域の行事にも積極的に参加しています。

目まぐるしく変わる社会情勢の中、様々な分野で変革が求められていますが、女性ならではのしなやかな感性と、伝統を重んじながらも既成の考え方にとらわれない自由な行動力で、今後も様々な活動を展開し、地域社会に貢献していきたいと思っております。

今後ともご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

古川商工会議所女性会 会長 曾根りん子 さん



☆大崎市の男女共同参画の取り組みの一部を紹介します☆

活躍する地域女性リーダー

ボランティア活動のリーダーであるAさん。地域活性化を図る事業活動等地域の祭り・花植え・エコ活動…、多くの人を惹きつけ巻き込み行動する起業家であり、熱く…地域を語り・行動し、多くの女性の起爆剤となっています。



鹿島台総合支所

始めましょう予防介護！

高齢者の方々にいきいきとした生活を続けていただくために、身近な集会所で集う「高齢者の集い」の開催支援として、レクリエーション等を実施する「活動サポーター」を養成しています。

地域のために、自分のために健康体操やレクリエーションを勉強してみませんか！



高齢介護課

明日が膨らむ「一日女性農業委員会」

女性農業者の視点を魅力ある農業と地域づくりへ積極的に取り入れることを目的に年2回（6月・2月）18名の女性で構成される「一日女性農業委員会」を開催しています。

今回は、女性講師を招き『家族経営協定に関すること』などを受講し、その意義を学びました。

また、女性という視点での要望・意見をそれぞれ出していただき、農業という産業において、女性の果たす役割がどんなに重要なものであるかを、全員で再認識しました。

農業現場に女性ならではの感性を発揮していき、安全・安心な農業を守り続けます。

農業委員会事務局

バリアフリーの推進・整備について

男女共同参画推進基本計画は、一人ひとりが「一人の人間として大切にされる」社会を目指し策定されたものですが、建築住宅課では、「バリアフリー法」や「だれもが住みよい福祉のまちづくり条例」に基づいて、安心して自由に生活できる環境づくりに向け、バリアフリー施設の推進・整備を行なっています。

右下のマークのある施設は、このような考えに基づき高齢者、障害者の方々が利用しやすいように、身障者対応駐車場や段差解消のためのスロープ、多目的トイレ(身障者対応トイレ)などが整備されていることを表しています。



建築住宅課

赤と黒のランドセル

小学校に入学する子供（孫）のためランドセルを買い求める姿が多くなりました。

15年前の我が家でもランドセルの色について、家族で話題になりました。最近では機能性の高いものや色も豊富になりましたが、当時は「赤」と「黒」が主流でした。「みんなと同じ黒がいい。」「違う色にすると目立ってしまう」というのが子供の意見でした。

当時は、色に性差を求めていたのでしょうか？こういう背景から「ジェンダー」が形成されたのでしょうか。今年の「ピカピカの一年生」は、何色を選ぶのでしょうか？

岩出山総合支所



女性消防団員の積極的入団

これまでの男性中心の消防団の組織形成のみではなく、時代に即した新しい消防団として、女性の能力を消防団活動に活用することが不可欠になってきています。

災害に直接対応する団員だけでなく、広報活動や予防指導、災害時の要援護者へのケア等専門的な活動に、女性だからこそその能力を発揮できる女性消防団員の活躍が大いに期待されています。大崎市でも現在は2名の女性消防団員が在籍していますが、女性がもっと入団しやすい環境を作ろうと消防団内で検討していくこととしています。

防災安全課

あとがき 謹んで震災のお見舞いを申し上げます。

連日の報道では、被災家屋の片付けを終え自宅へ戻り、震災を乗り越えようと歩み始める方がいる一方で、未だに復旧の足がかりを掴めずに悩まれている方も大勢おり、胸がしめつけられる思いです。

復興に向けて前に進むことも大切ですが、まだまだ続く余震と不自由な生活によるストレスを抱え生活していかなければならず、容易なことではありません。

今、私たちができることを考えてみましょう。ささいなことであっても、その積み重ねこそ一人ひとりが「一人の人間として大切にされる」社会の形成につながります。まず、助け合う心を忘れず、今できることから始めましょう。